

○減紛失代り記名証券又ハ利札請求前消滅
時効完成スヘキ場合ニ於ケル取扱方ノ件

(明治41年11月30日 整発甲第187号)
(大蔵省臨時国債整理局長から 日本
銀行国債局長あて)

明治39年法律第34号第5条ノ解釈ニ関シ今般別紙写ノ通省議決定候条此段及通牒候也

(別紙写)

明治39年法律第34号第5条ハ記名証券又ハ其ノ利札ノ滅失又ハ紛失ニ対スル代証券又ハ代利札ノ交付ニ関スル規定ニシテ其ノ既ニ元金ノ償還期又ハ利子ノ仕払期開始シタルモノニ付テハ代証券又ハ代利札ノ交付ヲ為サストノ但書アルノ外償還又ハ仕払ノ請求ヲ停止スルノ明文ナキヲ以テ滅失又ハ紛失届出ノ後3箇月ヲ経過セルトキト雖モ請求權ニハ毫モ消長ヲ来スモノニアラス唯法律ハ3ヶ月ノ期間ヲ置キ以テ滅失又ハ紛失ヲ確定スルノ方法ト為シタルモノナレハ縱令届出ヲ為ストモ此ノ期間ヲ経過セサル内ハ滅失又ハ紛失ノモノト認メス從テ償還期又ハ仕払期ノ既ニ開始シタルモノニ付テハ此期間ヲ経過スルマテハ国債規則『第55条』(編注1.)ヲ適用シ此期間ヲ経過シテ始メテ同規則『第57条』(編注2.)ノ適用ヲ受クヘキモノト謂ハサルヘカラス而シテ如斯届出後3箇月間償還又ハ仕払ノ請求ヲ停止セラルルコトナシトセハ其間時効ハ尚進行スルモノトス